

(プレス発表)

平成25年1月29日

多摩川精機(株)が大森精工機(株)を子会社化

多摩川精機株式会社

多摩川精機株式会社(本社 長野県飯田市、社長 萩本範文、以下「多摩川精機」)は1月29日、航空機の整備事業を手がける大森精工機株式会社(本社 東京都大田区、代表取締役 時村 明宏、以下「大森精工機」)の全株式を取得し完全子会社化した。

【買収の経緯】

多摩川精機は、昭和13年の創業より航空計器、角度センサ、小型モータの製造を開始、戦後一時中断期はあったものの、以来75年にわたる社歴の中で一貫して航空機事業に携わってきた。近年では、主に防衛分野で培った航空機技術をベースに世界の民間航空機市場での事業拡大を目標として、諸施策に取り組んできている。

その結果、航空機搭載部品においては、エアライン(航空会社)で運行される民間航空機や、B J機(ビジネスジェット)、V L J機(個人利用を主な目的とする小型の軽ビジネスジェット機)等へ、多摩川精機のセンサ・モータ及びアクチュエータの納入が具体化しており、更なる市場の拡大と新興国の経済成長に伴う需要の増大も期待されている。

航空機市場においては製品の製造販売のみならず、修理・点検といったアフターマーケットでのサービスが強く求められており、平成20年(2008年)に三徳航空電装株式会社(現 多摩川エアロシステムズ株式会社)を子会社化し体制強化に努めてきた。さらにこの度、大森精工機を子会社化することにより、サービス事業の一層の強化を目指している。

大森精工機は航空機部品の中でも重要装備品として整備回数が多いホイール・ブレーキの整備を事業としており、サービスに必要な認定(国土交通省航空局 修理改造事業場認定)を取得している。

これらの整備事業は多摩川精機の航空機事業を補完するものであり、両者の相乗効果も期待され多摩川精機にとって有益であると判断した。

今後 大森精工機は、多摩川精機の航空機関係の整備事業の一翼を担う関連会社として位置づけられ、事業の拡大と新たなサービス体制の整備に取り組む。

【大森精工機株式会社の概要】

本社所在地 東京都大田区大森中 2 丁目 17 番 12 号

代表者 代表取締役 渡邊 鉄也

(時村 明宏氏は 1/29 をもって退任)

創 業 1938 年(昭和 13 年) 10 月

資本金 5,600 万円

売上高 約 8 億円

従業員 80 名

事業内容 1)航空機用装備品(ホイール、ブレーキ、油圧部品、電装部品等)の整備。
2)航空機用地上支援機材の製造・修理
3)防衛省艦船装備品の整備
4)自動車・船舶用部品の製造
5)非破壊検査(磁粉、浸透、超音波、過流探傷)



航空機用ホイール&タイヤ整備作業

■ 本リリースに関するお問い合わせは

多摩川精機販売株式会社

開発営業部マーケティング課

E-mail : tsc@tamagawa-seiki.com

TEL : 0265-21-1816

FAX : 0265-56-5426

以上